

## 「鉄と鋼」特集号原稿募集のお知らせ

テーマ：ステンレス鋼

原稿締切 昭和 51 年 9 月 8 日 (水)

近年、わが国のステンレス鋼はその使用分野の拡大、需給量のいちじるしい伸長にともない、その品質の安定性の向上、さらに新しい改良品種の開発が活発に行われつつあり、講演大会でのこの分野の発表件数も大幅な増加を示しております。

そこで、今回材質関係の特集号として、標記テーマによるものを企画いたしました。内容はステンレス鋼の製錬技術の発展、冷間加工性、溶接性、耐食性等に関する技術資料を軸とし、これら材質に関連する論文、技術報告を配した構成を考えております。この特集号を充実した内容のものとするため、関連ある論文、あるいは技術報告をふるつてご投稿下さるようご案内いたします。

### 記

1. 原稿締切日：昭和51年9月8日(水)
2. 原稿枚数：(論文)・本会所定原稿用紙(450字詰)図、表、写真を含め50枚以内(刷り上り10頁以内)  
(技術報告)・本会所定原稿用紙 図、表、写真を含め35枚以内(刷り上り7頁以内)
3. 発行：鉄と鋼 第63年第3号(昭和52年3月号)
4. 原稿送付先：100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階  
日本鉄鋼協会編集課 (電 03-279-6021)  
(投稿に当つては、原稿表紙にステンレス特集号と朱書き下さるようお願いいたします)

## 「鉄と鋼」掲載記事に対する誌上討論投稿依頼について

日本鉄鋼協会編集委員会

本会編集委員会では、会誌が会員の皆様に役に立つよう種々検討いたしておりますが、その中の一つとして「鉄と鋼」に掲載された論文等に対しての誌上討論についても、活発にすることを決め、積極的に投稿されるよう周知方ご案内いたすことといたしました。

ご承知の通り会誌「鉄と鋼」には論文、技術報告あわせて年間掲載数は150件に及んでおります。

このような論文、技術報告の内容に関して広く会員との討論が活発になされれば、将来の研究ならびに技術の進歩発展に寄与するところ大なるものがあると考えます。

このようなことから、編集委員会では「鉄と鋼」に掲載された論文、技術報告を初め研究速報、討論会予稿等に対し、意見、例証、反証等の形でどしどし投稿されることを希望いたします。

### 記

1. 原稿枚数 本会所定の原稿用紙3枚以内(表、図、写真含む)
2. 投稿 同一論文に対する討論をまとめて掲載できるようになるべく会誌掲載後1カ月以内程度に投稿されることを希望いたします。また、討論事項に添て論文名、執筆者名、掲載号頁を記して下さい。
3. 掲載 掲載にあつては討論事項をまとめて著者の回答を求めるうえで、一部編集委員会で削除、加筆をすることがあります。
4. 投稿先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階  
日本鉄鋼協会編集課 電 03-279-6021(代)